

川越法友会

会報第四十五号

令和6年12月18日発行

さいたま市法友会との

合同暑氣払い



8月3日(土)、囲坊主で、うだるような暑さの中、さいたま市法友会との合同暑氣払いを開催しました。

さいたま市からは、山口会長をはじめ総勢9名の方々が、川越からは16名が参加しました。さいたま市法友会の皆さんに

は、暑氣払いの前に、藤田の案内で、一番街や時の鐘、菓子屋横丁の散策を楽しんでいただきました。

囲坊主ではにぎやかに、楽しい時を過ごすことができました。

締めは、いつものとおり、校歌です。校歌を歌うときは、常に学生時代に戻ります。



川越まつり法友会ブース

10月19・20日で行われた川越まつりで、札ノ辻交差点近くの「バー・ルゼック」さんのご協力で、川越法友会ブースを設置しました。

これは、校友同士の交流と会員拡大を目的として毎年実施しています。今年も、栗原さん、柿森さん、金田さんのご協力で、70名を超える校友が訪れてくれました。



祭ばやしを肴に母校に思いをはせるのも、なかなか粋なものです。来年も設置しようと思います。校友の皆さま、お誘い合わせの上、ぜひ、お立ち寄りください。

令和7年新年会

川越法友会令和7年新年会を、2月16日(日)15時から、本川越駅近くの香港菜館で開催します。

大勢の皆さまと新春を寿ぎ、おいしい中華料理を楽しみたいと思います。参加申し込み方法等のご案内は、別途お送りします。

ですので、皆さま、奮ってご参加ください。
今年も、校友会の田中副会長がおいでになり、校友会本部の状況などをお話しいただきました。楽しいサプライズを検討中です。



令和6年新年会の様子

令和7年度総会

令和7年度(第30回)の総会は、6月1日(日)15時から、ラポアラクテ(昨年と同じ会場)で開催予定です。

ぜひ、予定に入れておいてください。

議題は、事業報告・決算、役員改選、事業計画、予算を予定しています。



真行寺を訪ねて(その4)

真行尼が川島郷虫塚村の庵を閉じ、川越の北の宿場外れに新しい庵を結びました。この庵者が後に真行寺になったのであります。

川越の街外れに一寺を建てる

につけ、岩崎兵庫の働きが一番大きかったのではなからうかといわれております。同家は代々寺の筆頭総代を勤めております。明治時代になり、この岩崎家から岩崎桃助という青年が出ました。この青年は後に慶応義塾の創立者福沢諭吉の娘婿となった福沢桃助であります。

長篠の合戦に於いて、甲州軍団が大敗北したのを真行尼が知ったのは天正三年の夏のことです。甲斐源氏の血筋は勝頼の側室との間に生まれた次郎靖清であります。

靖清の母は商家の出で、武田家が滅亡する一月前に母の住む町家へ移された。そうして甲斐源氏の世継ぎが絶えることを心配して、母の叔父の店に丁稚奉公に上ったのであります。

武田氏が滅亡したのは天正

十年であります。甲州からやってきた旅の商人から勝頼の次男靖清が古府の呉服屋で丁稚奉公をしていると真行尼はききました。甲斐源氏の血筋を絶やしたくないと考えた真行尼は、靖清を引き取ることを決心し、自分に仕えている清月尼と寺男の茂平が靖清を迎えに行くことになりました。

清月尼は棲雲寺の下手にある田野の里をめざしました。ここは、この年の三月、大将勝頼公、その夫人小田原御前、長男信勝公が従者五十余人と共に自害して果てた所であるからです。この地を訪れて弔うことは、庵主さまの意に沿うことであると考えたからであります。天目山棲雲寺へ立ち寄った後、勝沼の大善寺へ向かいました。大善寺には理慶尼がいるからであります。理慶尼は、信玄公や真行尼とは従妹の仲で勝頼公の乳母もしておられました。

翌日の朝、清月尼一行は、大善寺の初老の僧の案内で呉服屋におかいました。

呉服屋の主人との話で次郎靖清を真行寺で貰い受けること

は順調に進められました。

(続く)

(71 経済 吉川泰夫)

新入会員紹介

金田友記さん(01 経済)



1976年 川越市郭町生まれ
氷川町育ち

川越ひまわり幼稚園⇩川越小学校⇩川越初雁中学校⇩川越南高校⇩法政大学⇩北京語言大学⇩Sammy株式会社20年勤務⇩ボディー株式会社 代表取締役

皆さまとご一緒に川越法友会を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします



「CMの中の川越」



私たちは日々暮らす中で、さまざまなメディアに接しております。その中でメディアに付随しておりますCMは、大変大きな意味を持っております。

なぜなら、メディアの経営にとってCMは、貴重な収入源です。特にテレビやネットは、CM収入がないと経営は成り立ちません。優れたCM作品は、視聴者を魅了し、番組本編よりも魅入られることがあります。皆さんは、多分何げなしにCMをご覧になられることが多いのではないかと

思います。トイレタイムとしてCMの時間を利用されたり、録画したテレビ番組を視聴する際に、CMを飛ばしていたりするのではないのでしょうか。

最近、とあるCMを目にした時に、川越の街中が背景として活用されていることに気が付きました。具体的には、「ウーバーイーツ」と「サントリーボス」です。ウーバーイーツのCMでは、連



聲寺の境内にあるお団子屋さんの前で、中尾明慶さんと犬、猿、キジが演じておりました。また、サントリーボスのCMでは、大正浪漫夢通りで役所広司さんと平手友梨奈さんがSFの世界を

表現しておりました。

ご興味がある方は、グーグル等で「ウーバーイーツCM 団子篇」「クラフトボス平手友梨奈」でそれぞれ検索していただくと、YouTubeで視聴できます。

なお、本稿提出に先立ち関係各社に確認しておりませんが、この内容には確信をいたしております。著作権の関係でCMの画像を掲載できませんのでご了承の程お願いいたします。

(70 経済 岩田信行)

オール法政新年を祝う会



令和7年1月26日(日)、「グランドニッコー東京 台場」で、法政大学校友会の三大行事の一つである「オール法政新年を祝う会」が開催されます。

千人規模の大宴会で、応援

団のパフォーマンスを見たり、貴重な講演を聴いたりすることができます。

そして何より校友の貴重な交流の場となっています。同級生とばったり会うかもしれません。参加希望の方は、校友会ウェブサイトからお申し込みください。

オレンジの集い

12月14日(土)、越谷サンシティで開催された法政大学応援団の「オレンジの集い」に、埼玉県校友会の高田会長、石田事務局長と共に参加しました。

プログラムは3部構成で、第1部吹奏楽ステージ、第2部チャリディングステージ、第3部リーダーステージとなっております。迫力満点の演奏・演舞でした。

(83 法 藤田明義)



パリオリンピック法政大学関係者競技結果

7〜8月に開催されたパリオリンピックで、たくさん感動をもらいました。

中でも、フェンシング男子フルーレ団体の数根選手の金メダルは見事でした。

法政大学関係者の競技結果は次のとおりです。

○青木涼真 男子3000m障害物 生命科学部 2019年度卒

○三井愛梨 女子200mバタフライ11位 国際文化学部在学

○藤野あおば サッカー女子

5位 スポーツ健康学部在学

○宮澤ひなた サッカー女子

5位 スポーツ健康学部2021年度卒

○尾崎世梨 フェンシング女子

サーブル団体 **銅** 法学部在学

○見延和靖 フェンシング男子

エペ団体 **銀** 法学部2010年度卒

○吉田健人 フェンシング男子

サーブル個人 23位 法学部

2014年度卒

○福島史帆実 フェンシング女

子サーブル団体 **銅** 法学部

2017年度卒

○数根崇裕 フェンシング男子フルーレ団体 **金** 法学部

2020年度卒

○高嶋理紗 フェンシング女子サーブル団体 **銅** 国際文化学部 2020年度卒

○中村知春 女子7人制ラグビー9位 キャリアデザイン学部 2010年度卒

○高橋侑子 トライアスロン女子 40位 スポーツ健康学部 2014年度卒

*出所：法政大学体育会ウェブサイト（一部抜粋）



川越法友会 30周年

川越法友会は、令和7年度に、創設30周年を迎えます。

そこで、会員各位はもとより、法政大学および法政大学校友会関係の皆さまや、交流のある六大学の各同窓会に所属する皆さま方をお招きし、にぎやかに記念式典および懇親会を開催したいと考え、計画を練って

るところです。

令和8年2月開催を目途に準備を進めておりますので、日程・会場が決まりましたら、あらためてご連絡したいと考えています。楽しく、そして元気に行いたいと思います。



20周年記念式典の様子

編集後記

川越まつりが終わり、反省会・慰労会と名の付くものが7回あり、なかなか会報に手がつかない日々が続いていました。忘年会の日程も立て込んで、内心、新年号で発行か？と気持ちが悪く感じていた先週末、とある結婚披露宴に出席しました。

新郎は法政大学野球部OB、新婦（藤田の姪）は明治大学応援団（チア）出身で、余興はもちろん、応援団・チアのパフォーマンス。Y学園、明治大学、NXの3部構成で、楽しませてもらいました。この中で、法明戦パフォーマンスがあり、チャンス法政が流れました。なぜかオレンジのタオルを持っていた私は、元氣よく振って、気分は上々です。しかし、新婦側の席だったので、周りは紫ばかりです。新郎側にも、オレンジのタオルを振っているお調子者は誰もいなかったの、やってしまった感が少しありました。でも、新郎はこちらを見て、とても喜んでいました。

会場で、青木元野球部監督にお会いし、大先輩ですと声をかけられ、いまさらながら年齢を自覚しました。（ふん）

川越法友会会報 第45号

発行者 藤田 明義

編集 藤田 明義

岩田 信行

中村 龍太

連絡先 藤田 明義

〒350-0062

川越市元町1-8-17